

親指シフトキーボードを使ったハングル入力について(メモ)

ハングル文字は表音文字であり、一文字は一音節を表す。
ハングル文字はハングル字母によって構成される。

1. ハングルにおける「3」

字母を3分類：初音、中音、終音
子音を3分類：平音、激音、濃音
母音を3分類：半母音なし、半母音がy、半母音がw

おまけ：ハングル字母は○□△（それぞれ天地人を表す）の3つの形を基にデザイン

1.1 字母の3分類

ハングル字母は、初音(頭子音)を表すもの、中音(母音)を表すもの、終音(末子音)を表すものに分類できる。

ただし、音節には終音なし音節と、終音あり音節の2種類がある。

終音なし音節の例：KA (Kが初音に相当、Aが中音に相当)

終音あり音節の例：KAN (Kが初音に相当、Aが中音に相当、Nが終音に相当)

1.2 子音の3分類

平音	K ㄱ	N ㄴ	T ㄷ	R ㄹ	M ㅁ	P ㅂ	S ㅅ	なし ㅇ	C ㅈ
激音	KH ㅋ		TH ㅌ			PH ㅍ		H ㅎ	CH ㅊ
濃音	KK ㄲ		TT ㄸ			PP ㅃ	SS ㅆ		CC ㅉ

1.3 母音の3分類

半母音無	A ㅏ	EO ㅑ	O ㅓ	U ㅕ	EU ㅡ	I ㅣ	AE ㅞ	E ㅟ	OE ㅠ	EUI ㅢ
半母音y	YA ㅛ	YEO ㅝ	YO ㅟ	YU ㅠ			YAE ㅙ	YE ㅜ		
半母音w	WA ㅜ	WEO ㅟ				WI ㅢ	WAE ㅞ	WE ㅟ		

2. 親指シフトキーボードにおける「3」

親指シフトキーボードは3段シフト

3段シフトは、3分類が多いハングルの入力に最適

参考：従来のキーボードを使ったハングル入力の問題点

- 1) 左右両手の使用頻度の差が大きい（左手に子音、右手に母音）
- 2) ハングル字母単位の入力ができない
- 3) 初音と終音の区別が即時にできない

親指シフトキーボードを使えば、上述の問題点がすべて解決できる

3. 親指シフトキーボードを使ったハングル入力

3.1 特徴

一つのキーで、初音と中音の入力が可能(中段キーを使用)

打鍵ごとに初音モードと中音モードを相互自動切り替え
初音を入力した後は中音が入力できる

一つのキーで、同グループ子音の平音、激音、濃音が入力が可能

使用頻度が高い平音は、ハングル字母キーを単独打鍵
激音は、字母キーと同手側シフトキーを同時打鍵
濃音は、字母キーと反手側シフトキーを同時打鍵

一つのキーで、同グループ母音の半母音なし、半母音がy、半母音がwが入力が可能

使用頻度が高い半母音なしの母音は単独打鍵
半母音がyの母音は、字母キーと同手側シフトキーを同時打鍵
半母音がwの母音は、字母キーと反手側シフトキーを同時打鍵

終音は初音と異なるキーで入力(上下段キーを使用)

初音と終音の区別が即時にできる

ハングル字母単位で入力可能

終音なし音節は2打鍵、終音あり音節は3打鍵

3.2 効果(ハングル字母のみを対象に統計)

左右両手の使用頻度が均衡

左手：52.4%

右手：47.6%

左手人差し指：34.0%

右手人差し指：30.8%

左手中指：10.3%

右手中指：10.3%

左手薬指：5.1%

右手薬指：5.6%

左手小指：3.0%

右手小指：0.9%

中段キー(ホームポジション)の使用頻度が高い

中段キー： 81.8%
 上段キー： 17.8%
 下段キー： 0.4%

単独打鍵率が高い

ハングル字母キーの単独打鍵率 : 88.7%
 字母キーと同手側シフトキーとの同時打鍵率 : 8.2%
 字母キーと反手側シフトキーとの同時打鍵率 : 3.1%

3.3 初音字母の配列案

PH PP		KH KK	H	
P	M	K	なし	R

SS		TT TH	CC CH	
S	N	T	C	

ㅍ ㅑ		ㅋ ㅓ	ㅎ	
ㅍ	ㅓ	ㅋ	ㅎ	ㄹ

ㅗ		ㅛ ㅜ	ㅝ ㅞ	
ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅝ	ㅞ

3.4 中音字母の配列案

	ye we	yu	yeo weo	yo
oe	e	u	eo	o

wi	wa ya		wae yae	
i	a	eu	ae	eui

ㅑ	ㅑ ㅓ	ㅓ	ㅓ ㅓ	ㅓ
ㅑ	ㅓ	ㅓ	ㅓ	ㅓ

ㅓ	ㅓ ㅓ	ㅓ	ㅓ ㅓ	ㅓ
ㅓ	ㅓ	ㅓ	ㅓ	ㅓ

3.5 終音字母の配列案

PH P	M	KH KK K	H NG	R
LP LPH PS	LM	KS LK		LS LTH LH

SS S	N	TH T	CH C	
	NC NH			

ㅍ H	ㅁ	ㅋ ㆁ ㄱ	ㅎ ㅇ	ㄹ
ㅌ ㅍ ㅍ	ㅌ	ㄱ ㄹ		ㄹ ㄹ ㄹ

ㅃ 人	ㄴ	ㅌ ㄷ	ㅈ ㅈ	
	ㄴ ㄴ			

以上

文責：菅野